

令和 5 年 度

県土整備部主要施策の概要

令和 5 年 2 月  
県 土 整 備 部



## 目 次

令和5年度県土整備部関係当初予算案 総括表 .....	1
I 令和5年度 県土整備部における主要施策の体系 .....	2
II-1 令和5年度当初予算案 主要事業一覧 .....	3
1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進 .....	3
(1) 激甚化・頻発化する豪雨災害への対応 ～国や市町村等と連携した最上川水系などでの「流域治水」の推進～	
(2) 災害に強い地域づくりの推進	
(3) インフラ老朽化対策の推進	
(4) 港湾・空港における脱炭素化の取組みの推進	
2 多様な交流基盤の形成 .....	4
(1) 交通基盤の整備	
(2) ポストコロナにおけるインバウンド拡大への対応	
3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成 .....	5
4 「やまがた強靱化」を担う人材の育成・確保 .....	5
II-2 令和5年度当初予算案 主な事業の内容 .....	7



## 令和5年度県土整備部関係当初予算案 総括表

### <一般会計>

(単位:千円)

区 分	令和3年度 政府補正 予算対応 A	令和4年度 当初予算 B	令和4年度 16か月予算 (A + B) C	令和4年度 政府補正 予算対応 D	令和5年度 当初予算 E	令和5年度 16か月予算 (D + E) F	前年度比 当初 E / B
1. 投資の経費 (うち、強靱化分)	28,860,377 (24,565,024)	<b>50,727,888</b>	79,588,265 (24,565,024)	24,753,201 (22,837,506)	<b>50,977,760</b>	75,730,961 (22,837,506)	<b>100.5%</b>
(1) 公共事業費 (うち、強靱化分)	25,255,574 (22,868,492)	<b>18,602,986</b>	43,858,560 (22,868,492)	22,093,317 (20,970,398)	<b>18,320,314</b>	40,413,631 (20,970,398)	<b>98.5%</b>
(2) 単独事業費		<b>15,242,676</b>	15,242,676		<b>14,509,753</b>	14,509,753	<b>95.2%</b>
(3) 災害復旧事業費		<b>5,605,952</b>	5,605,952		<b>6,822,299</b>	6,822,299	<b>121.7%</b>
(4) 直轄事業負担金 (うち、強靱化分)	3,604,803 (1,696,532)	<b>11,276,274</b>	14,881,077 (1,696,532)	2,659,884 (1,867,108)	<b>11,325,394</b>	13,985,278 (1,867,108)	<b>100.4%</b>
2. 一般行政費	-	<b>9,801,397</b>	9,801,397	-	<b>10,114,404</b>	10,114,404	<b>103.2%</b>
(1) 維持修繕費		<b>8,587,364</b>	8,587,364		<b>8,774,362</b>	8,774,362	<b>102.2%</b>
(2) 貸付金		<b>5,120</b>	5,120		<b>1,610</b>	1,610	<b>31.4%</b>
(3) 補助費等		<b>781,874</b>	781,874		<b>907,623</b>	907,623	<b>116.1%</b>
(4) 物件費		<b>427,039</b>	427,039		<b>430,809</b>	430,809	<b>100.9%</b>
3. 繰 出 金	-	<b>845,268</b>	845,268	-	<b>912,890</b>	912,890	<b>108.0%</b>
4. 人 件 費	-	<b>4,057,694</b>	4,057,694	-	<b>4,135,190</b>	4,135,190	<b>101.9%</b>
合 計	28,860,377	<b>65,432,247</b>	94,292,624	24,753,201	<b>66,140,244</b>	90,893,445	<b>101.1%</b>

(注) 総合支庁予算を含む。直轄事業負担金については災害復旧分を含む。

### <特別会計>

区 分	令和3年度 政府補正 予算対応 A	令和4年度 当初予算 B	令和4年度 16か月予算 (A + B) C	令和4年度 政府補正 予算対応 D	令和5年度 当初予算 E	令和5年度 16か月予算 (D + E) F	前年度比 当初 E / B
港湾整備事業		<b>479,666</b>	479,666		<b>788,092</b>	788,092	<b>164.3%</b>

### <公営企業会計(流域下水道事業)>

		令和4年度 当初予算 A	令和5年度 当初予算 B	前年度比 B / A
収入	収益の収入	5,262,319千円	5,312,825千円	101.0%
	資本の収入	1,770,207千円	2,272,864千円	128.4%
	収入合計	7,032,526千円	7,585,689千円	107.9%
支出	収益の支出	5,368,623千円	5,465,626千円	101.8%
	資本の支出	2,368,760千円	2,883,055千円	121.7%
	支出合計	7,737,383千円	8,348,681千円	107.9%



## R5 県政運営の基本的考え方の方向性、重視するポイント

### 未来の「やまがた」をつくる 人材育成・確保を推進!

◇ 必要とされる職業能力の変化に対応した知識・技術の習得

### 持続可能な成長に向けた産業の生産性向上・高付加価値化!

◇ 建設業等、あらゆる産業分野におけるDXの推進

### 県民が幸せを実感できる暮らしやすい「やまがた」へ!

◇ 本県ならではの地域資源、暮らし方などの価値を見つめ直すきっかけづくりや機運の醸成

### 安全・安心な暮らしや交流を支える「やまがた強靱化」!

◇ ソフト・ハード両面からの対策による災害に強い県土づくり  
 ◇ 地方分散等を見据えた交通ネットワークの充実強化  
 ◇ 道路交通の安全確保  
 ◇ カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進

◎新規（一部新規含む）

※ 予算額には、令和4年度補正予算（政府補正予算対応分）を含む。括弧書きがないものは、全額令和5年度当初予算。

## 1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進

### (1) 激甚化・頻発化する豪雨災害への対応

～国や市町村等と連携した最上川水系などでの「流域治水」の推進～

- ・建設災害復旧事業費、建設災害関連改良対策事業費（うち令和4年6月から8月の豪雨対応） 1,772,365千円  
令和4年6月から8月の豪雨で被災した公共土木施設の復旧、改良
- ・河川整備補助事業費、河川整備単独事業費、国直轄河川事業費負担金 11,433,557千円（R5:3,226,769千円）  
最上川緊急治水対策プロジェクト等に基づく、浸水被害の解消を図るための計画的な河川整備
- ・土砂災害対策事業費（砂防、地すべり、急傾斜地） 4,684,333千円（R5:2,778,633千円）  
土石流等の土砂災害を防止するための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備、急傾斜地崩壊防止工事等の実施



令和4年8月の大雨で被災した小白川の改良復旧（飯豊町）

### (2) 災害に強い地域づくりの推進

- ・道路改築事業費、交通安全道路事業費、街路整備事業費（うち緊急輸送道路整備、無電柱化） 7,539,890千円（R5:4,287,482千円）  
緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の整備、防災機能の強化を図るための無電柱化の実施
- ・雪に強いみちづくり事業費 1,204,895千円（R5:873,198千円）  
緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の雪崩対策等の実施
- ・災害に強いみちづくり事業費 1,139,764千円（R5:869,418千円）  
緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の落石防止対策等の実施
- ・道路除雪費 5,204,393千円  
県管理道路の除雪の実施



道路拡幅、無電柱化の例 四日町山家町線（山形市）

- ◎盛土災害防止対策事業費 44,000千円  
「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づく規制区域を指定するための調査の実施

### (3) インフラ老朽化対策の推進

- ・道路施設長寿命化対策事業費、河川管理施設長寿命化対策事業費、砂防関係施設長寿命化対策事業費、空港安全対策事業費（うち空港施設長寿命化対策）、港湾施設長寿命化対策事業費 12,543,823千円（R5:6,384,146千円）  
公共土木施設の長寿命化対策（点検、補修、更新）の実施



酒田港

### (4) 港湾・空港における脱炭素化の取組みの推進

- ◎酒田港施設整備費【特別会計】（うち高砂埋立用護岸整備） 200,000千円  
酒田港を活用した洋上風力発電の導入等を見据えた、浚渫土砂を受け入れるための高砂埋立用護岸の整備に必要な調査、測量、設計の実施
- ◎空港整備事業費（うち山形空港脱炭素化基礎調査） 6,690千円  
山形空港の脱炭素化を検討するための基礎調査の実施

## 2 多様な交流基盤の形成

### (1) 交通基盤の整備

- ・道路改築事業費 6,572,388千円（R5:3,225,000千円）  
インターチェンジアクセス道路等の整備、県管理の国道や県道における道路改良やバイパスの整備
- ・国直轄高速道路等事業費負担金、国直轄道路事業費負担金 8,649,034千円（R5:7,743,607千円）  
高規格道路及び国直轄国道の整備促進（県が事業費の一部を負担）
- ・空港整備事業費 338,106千円  
山形空港及び庄内空港の滑走路端安全区域（RESA）等の整備
- ・酒田港施設整備費【特別会計】 362,700千円  
ふ頭の舗装改良、上屋照明灯のLED化等の実施



道路改築事業の例 (国) 287号 豊穰橋(米沢市)

### (2) ポストコロナにおけるインバウンド拡大への対応

- ・空港整備事業費（うち機能強化の検討） 1,370千円  
滑走路延長など空港の機能強化の実現に向けた手法の検討
- ・酒田港整備事業費（うち外航クルーズ船受入体制整備） 23,316千円  
外航クルーズ船受入のための保安対策等の実施

## 3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成

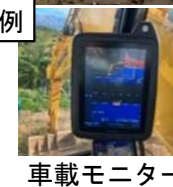
- ・良質住宅ストック形成推進事業費 671,452千円  
快適に長く暮らすことができる住宅の新築及びリフォームに対する支援
- ・交通安全道路事業費 4,640,275千円（R5:3,273,138千円）  
事故危険箇所、交通渋滞の解消のための歩道の整備や交差点改良等、通学路の合同点検を踏まえた安全対策の実施
- ・流域下水道事業【公営企業会計】（うち流域下水道整備） 2,459,014千円（R5:2,238,014千円）  
快適な生活環境の確保のための県内4処理区の処理場及び管渠の改築更新等の実施
- ・都市公園活用推進事業費 830,942千円（R5:675,542千円）  
都市公園の魅力向上に向けた計画的な施設更新及び利用者のための環境整備
- ・やまがたの誇れる景観魅力発信事業費 3,399千円  
景観ガイドブックの作成等による本県の魅力的な景観の情報発信等の実施



最上川ふるさと総合公園 スケートパークの更新 (寒河江市)

## 4 「やまがた強靱化」を担う人材の育成・確保

- ◎建設DX推進事業費 4,329千円  
ICT施工を実践できる技術者の育成のための研修の実施、公共工事等に3次元データを活用するための発注者（県）の機材の整備等
- ・建設産業人材確保・育成事業費 746千円  
建設産業の人材確保に向けた事業者団体による取組みへの支援等
- ・やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費 1,786千円  
若手大工の技能習得に対する支援、高校生を対象とした大工職人の魅力を伝えるセミナーの開催、住宅情報総合サイトの運営
- ◎県土形成企画事業費 1,718千円  
職員の政策形成能力の向上のため、若手職員による政策課題研究を実施







## Ⅱ-1 令和5年度当初予算案 主要事業一覧

部局名：県土整備部

※予算額には、令和4年度補正予算（政府補正予算対応分）を含む。

(単位：千円)

番号	担当課	事業名	予算額 (下段括弧書きは、うち、R5当初分)	区分	事業概要
1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進					
(1) 激甚化・頻発化する豪雨災害への対応 ～国や市町村等と連携した最上川水系などでの「流域治水」の推進～					
1	砂防・災害対策課	建設災害復旧事業費 建設災害関連改良対策事業費 (うち令和4年6月から8月の豪雨対応)	1,772,365 (1,772,365)		・令和4年6月から8月の豪雨で被災した公共土木施設の復旧、改良
2	河川課	河川整備補助事業費 河川整備単独事業費	9,525,237 (2,551,137)		・最上川緊急治水対策プロジェクト等に基づく、浸水被害の解消を図るための計画的な河川整備
3	河川課	国直轄河川事業費負担金	1,908,320 (675,632)		・最上川緊急治水プロジェクト等に基づく、国直轄河川の整備促進（県が事業費の一部を負担）
4	河川課	河川流下能力向上・持続化対策事業費	1,199,000 (1,199,000)		・河川の堆積土砂や支障木の撤去及び土砂の再堆積抑制対策等の実施による流下能力の確保
5	砂防・災害対策課	土砂災害対策事業費 (砂防、地すべり、急傾斜地)	4,684,333 (2,778,633)		・土砂災害を防止するための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備、急傾斜地崩壊防止工事等の実施
(2) 災害に強い地域づくりの推進					
6	道路整備課 都市計画課	道路改築事業費 交通安全道路事業費 街路整備事業費 (うち緊急輸送道路整備、無電柱化)	7,539,890 (4,287,482)		・緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の整備 ・防災機能の強化を図るための無電柱化の実施
7	道路保全課	雪に強いみちづくり事業費	1,204,895 (873,198)		・緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の雪崩対策等の実施
8	道路保全課	災害に強いみちづくり事業費	1,139,764 (869,418)		・緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の落石防止対策等の実施
9	道路保全課	道路除雪費	5,204,393 (5,204,393)		・県管理道路の除雪の実施
10	管理課	盛土災害防止対策事業費	44,000 (44,000)	新規	・「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づく規制区域を指定するための調査の実施

番号	担当課	事業名	予算額 (下段括弧書きは、うち、R5当初分)	区分	事業概要
(3) インフラ老朽化対策の推進					
11	道路整備課 道路保全課	道路施設長寿命化対策事業費	11,001,410 (5,724,783)		<ul style="list-style-type: none"> <li>公共土木施設の長寿命化対策（点検、補修、更新）の実施</li> </ul>
	河川課	河川管理施設長寿命化対策事業費	864,900 (237,000)		
	砂防・災害対策課	砂防関係施設長寿命化対策事業費	416,910 (259,410)		
	空港港湾課	空港安全対策事業費 (うち空港施設長寿命化対策)	3,000 (3,000)		
	空港港湾課	港湾施設長寿命化対策事業費	257,603 (159,953)		
(4) 港湾・空港における脱炭素化の取組みの推進					
12	空港港湾課	酒田港施設整備費【特別会計】 (うち高砂埋立用護岸整備)	200,000 (200,000)	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>酒田港を活用した洋上風力発電の導入等を見据えた、浚渫土砂を受け入れるための高砂埋立用護岸の整備に必要な調査、測量、設計の実施</li> </ul>
13	空港港湾課	空港整備事業費 (うち山形空港脱炭素化基礎調査)	6,690 (6,690)	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形空港の脱炭素化を検討するための基礎調査の実施</li> </ul>
2 多様な交流基盤の形成					
(1) 交通基盤の整備					
14	道路整備課	道路改築事業費	6,572,388 (3,225,000)		<ul style="list-style-type: none"> <li>インターチェンジアクセス道路等の整備</li> <li>県管理の国道や県道における道路改良やバイパスの整備</li> </ul>
15	道路整備課	国直轄高速道路等事業費負担金 国直轄道路事業費負担金	8,649,034 (7,743,607)		<ul style="list-style-type: none"> <li>高規格道路や国直轄国道の整備促進（県が事業費の一部を負担）</li> </ul>
16	空港港湾課	空港整備事業費	338,106 (338,106)		<ul style="list-style-type: none"> <li>山形空港及び庄内空港における滑走路端安全区域（RESA）の整備に係る用地造成等</li> <li>山形空港における航空灯火更新</li> </ul>
17	空港港湾課	酒田港施設整備費【特別会計】	362,700 (362,700)		<ul style="list-style-type: none"> <li>ふ頭の舗装改良、上屋照明灯のLED化等の実施</li> </ul>
(2) ポストコロナにおけるインバウンド拡大への対応					
18	空港港湾課	空港整備事業費 (うち機能強化の検討)	1,370 (1,370)		<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路延長など空港の機能強化の実現に向けた手法の検討</li> </ul>

番号	担当課	事業名	予算額 (下段括弧書きは、うち、R5当初分)	区分	事業概要
19	空港港湾課	酒田港整備事業費 (うち外航クルーズ船受入体制整備)	23,316 (23,316)		・外航クルーズ船受入のための保安対策及び初寄港となる船舶の航行安全調査の実施
3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成					
20	建築住宅課	良質住宅ストック形成推進事業費	671,452 (671,452)		・快適に長く暮らすことができる住宅の新築及びリフォームに対する支援
21	道路整備課	交通安全道路事業費	4,640,275 (3,273,138)		・事故危険箇所、交通渋滞の解消のための歩道の整備や交差点改良等 ・通学路の合同点検を踏まえた安全対策の実施
22	下水道課	流域下水道事業【公営企業会計】 (うち流域下水道整備)	2,459,014 (2,238,014)		・快適な生活環境の確保のための県内4処理区(山形、村山、置賜、庄内)の処理場及び管渠の改築更新等の実施
23	都市計画課	都市公園活用推進事業費	830,942 (675,542)		・都市公園の魅力向上に向けた計画的な施設更新及び利用者のための環境整備
24	県土利用政策課	やまがたの誇れる景観魅力発信事業費	3,399 (3,399)		・景観ガイドブックの作成等による本県の魅力的な景観の情報発信等の実施
4 「やまがた強靱化」を担う人材の育成・確保					
25	建設企画課	建設DX推進事業費	4,329 (4,329)	新規	・ICT施工を実践できる技術者の育成のための研修や、中高生に建設業の可能性と魅力を伝える最新のデジタル技術体験会の開催等 ・公共工事等に3次元データを活用するための発注者(県)の機材の整備
26	建設企画課	建設産業人材確保・育成事業費	746 (746)		・建設産業の人材確保に向けた事業者団体による取組みへの支援 ・女性入職促進のための見学会開催
27	建築住宅課	やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費	1,786 (1,786)		・若手大工の技能習得に対する支援 ・高校生を対象とした大工職人の魅力を伝えるセミナーの開催 ・住宅情報総合サイトの運営
28	建築住宅課	空き家対策推進事業費 (うち空き家対策担い手育成)	814 (814)		・市町村と連携した空き家対策に取り組む人材を支援するモデル事業の実施
29	管理課	県土形成企画事業費	1,718 (1,718)	新規	・職員の政策形成能力向上のため、若手職員による政策課題研究を実施



## Ⅱ－２ 令和５年度当初予算案 主な事業の内容

施策の柱	番号	区分	主な事業	所管所属	担当電話番号	頁
1 安全・安心 で持続可能 な県土をつ くる「やまが た強靱化」 の推進	1		建設災害復旧事業費、建設災害関連改良対策事業費	砂防・災害 対策課	災害復旧担当 Tel:023-630-2614	9
	2		河川整備補助事業費	河川課	河川整備担当 Tel:023-630-2616	10
	4		河川流下能力向上・持続化対策事業費	河川課	河川管理担当 Tel:023-630-2619	11
	5		土砂災害対策事業費(砂防、地すべり、急傾斜地)	砂防・災害 対策課	砂防事業担当 Tel:023-630-2633	12
	6		街路整備事業費	都市計画課	街路・区画整理担当 Tel:023-630-2586	13
	7		雪に強いみちづくり事業費	道路保全課	道路メンテナンス・市町村道担当 Tel:023-630-2608	14
	8		災害に強いみちづくり事業費	道路保全課	管理調整担当 Tel:023-630-2904	15
	9		道路除雪費	道路保全課	管理調整担当 Tel:023-630-2904	16
	10	新規	盛土災害防止対策事業費	管理課	県土強靱化推進室企画担当 Tel:023-630-3138	17
	11		道路施設長寿命化対策事業費	道路整備課 道路保全課	橋梁・舗装担当 Tel:023-630-2626 道路メンテナンス・市町村道担当 Tel:023-630-2608	18
	11		河川管理施設長寿命化対策事業費	河川課	河川管理担当 Tel:023-630-2619	19
	11		砂防関係施設長寿命化対策事業費	砂防・災害 対策課	砂防事業担当 Tel:023-630-2633	20
	2 多様な交流 基盤の形成	11		港湾施設長寿命化対策事業費	空港港湾課	港湾担当 Tel:023-630-2447
12		新規	酒田港施設整備費【特別会計】 (うち高砂埋立用護岸整備)	空港港湾課	港湾担当 Tel:023-630-2447	22
13		新規	空港整備事業費(うち山形空港脱炭素化基礎調査)	空港港湾課	空港担当 Tel:023-630-2629	23
14			道路改築事業費	道路整備課	道路整備・安全対策担当 Tel:023-630-2592	24
3 にぎわいが あり誰もが 快適に活用 できる県土 の形成	15		高速道路等の整備状況	道路整備課	高速道路整備推進室 Tel:023-630-2609	25
	16		空港整備事業費	空港港湾課	空港担当 Tel:023-630-2629	26
	19		酒田港整備事業費 (うち外航クルーズ船受入体制整備)	空港港湾課	港湾担当 Tel:023-630-2447	27
	20		良質住宅ストック形成推進事業	建築住宅課	住まいづくり支援担当 Tel:023-630-2649	28
	21		交通安全道路事業費	道路整備課	道路整備・安全対策担当 Tel:023-630-2592	29
4 「やまがた 強靱化」を 担う人材の 育成・確保	22		流域下水道事業【公営企業会計】(うち流域下水道整備)	下水道課	流域下水道整備担当 Tel:023-630-2757	30
	23		都市公園活用推進事業費	都市計画課	都市公園担当 Tel:023-630-3130	31
	24		やまがたの誇れる景観魅力発信事業費	県土利用 政策課	景観・地域づくり担当 Tel:023-630-2578	32
	25	新規	建設DX推進事業費	建設企画課	建設業振興担当 Tel:023-630-2658	33
	26		建設産業人材確保・育成事業費	建設企画課	建設業振興担当 Tel:023-630-2658	34
	27		やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費	建築住宅課	建築行政担当 Tel:023-630-2651	35
	28		空き家対策推進事業費(うち空き家対策担い手育成)	建築住宅課	企画担当 Tel:023-630-2637	36



## ◆建設災害復旧事業費・建設災害関連改良対策事業費

### 1. 事業概要

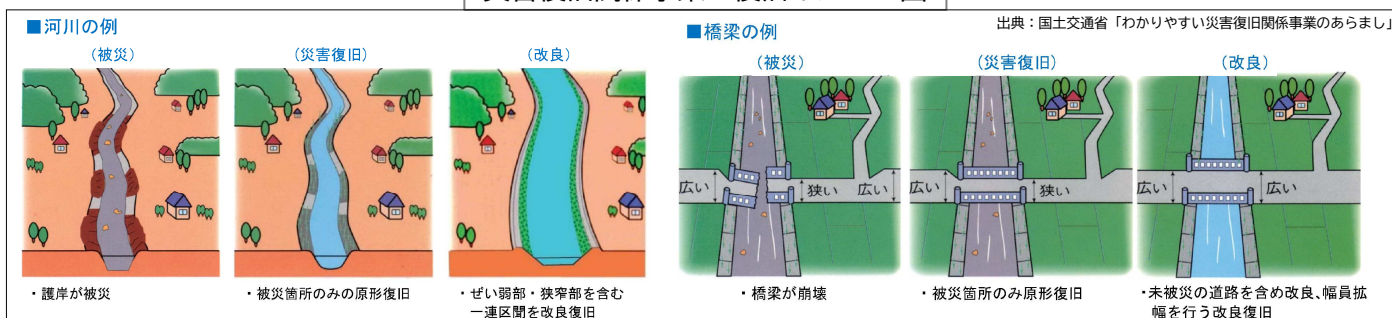
#### ○建設災害復旧事業費

被災した公共土木施設を原形に復旧することを基本としています。（国庫負担率2／3以上）

#### ○建設災害関連改良対策事業費

災害復旧事業費（国庫負担率2／3以上）に改良工事費（国庫補助率1／2）を加え、再度災害防止を図る事業（改良復旧事業）です。

災害復旧関係事業の復旧イメージ図



### 2. 令和5年度実施内容

令和4年6月から8月の豪雨で被災した公共土木施設の復旧、改良

○災害復旧事業 実施箇所：194箇所

○改良復旧事業 実施箇所：3箇所

<主な施設>

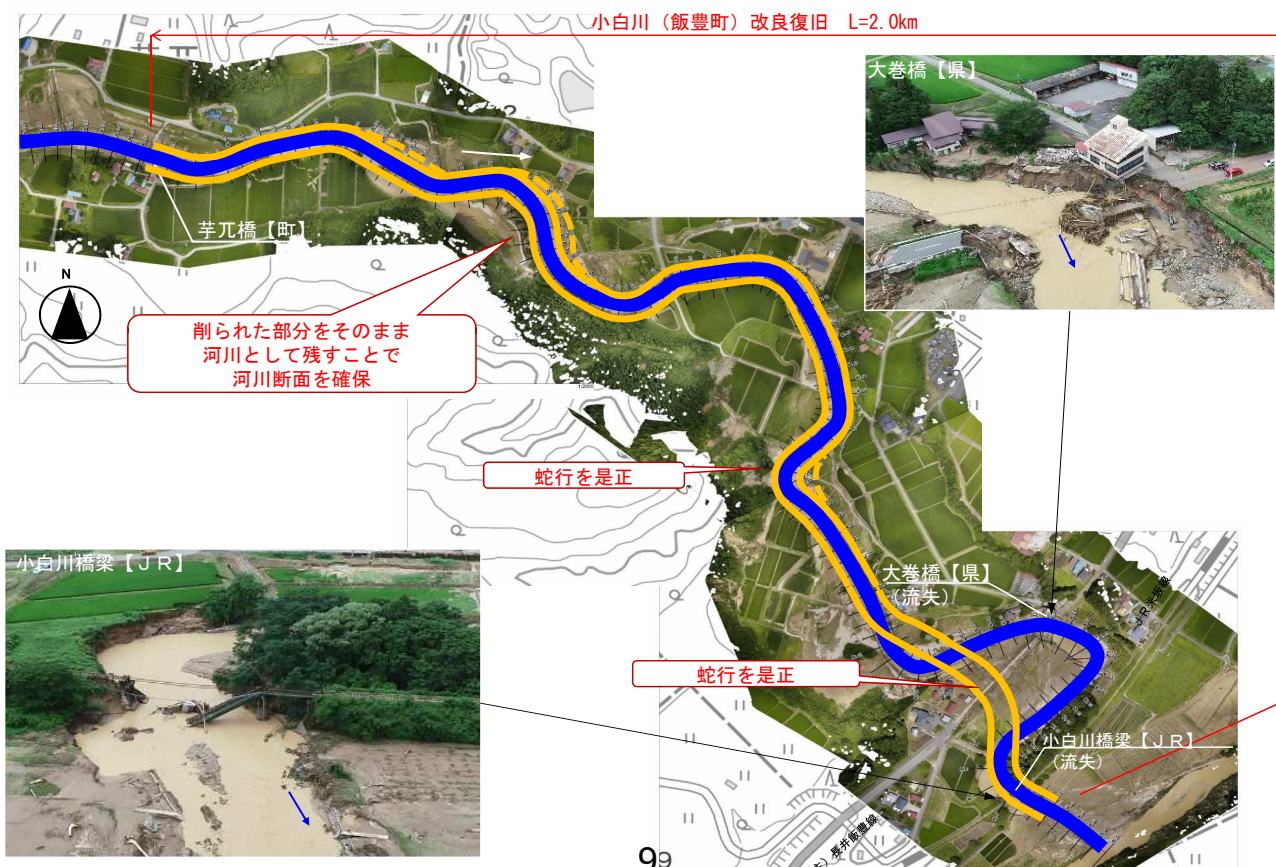
<主な施設>

・道路 22箇所 ・河川 172箇所

・一級河川 小白川 ・一級河川 萩生川

## ◆ 事例：改良復旧事業 小白川（飯豊町）

令和4年8月の大雨による災害を踏まえた、再度災害防止のための改良復旧（拡幅、蛇行の是正等）を実施



## ◆河川整備補助事業費

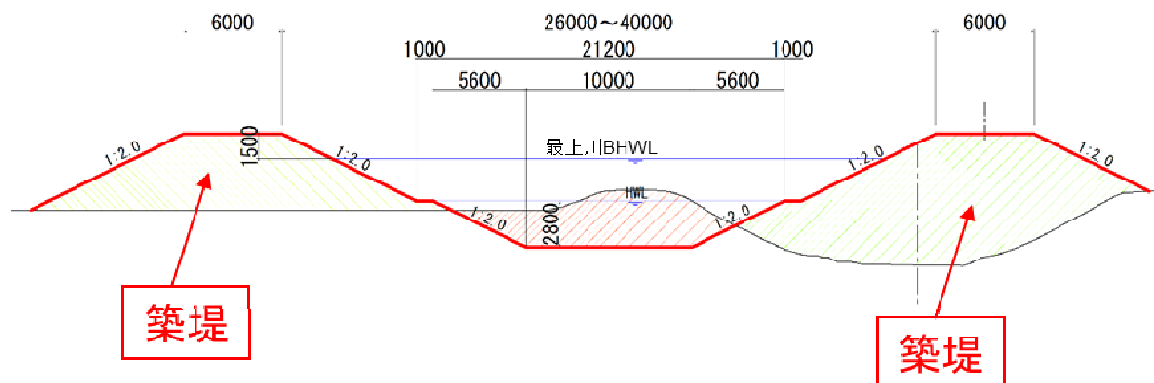
### 1. 事業概要

近年の洪水で浸水被害が発生した河川における再度災害防止のための河道掘削や堤防整備等、最上川の緊急治水対策プロジェクト等に基づく計画的な河川整備を推進します。

### 2. 令和5年度実施内容

令和5年度の事業実施予定箇所  
・古佐川 外28河川

### 計画横断面図



河北町押切地区浸水状況 (R2.7豪雨)

## ◆事例紹介：一級河川 最上川水系 古佐川 (河北町谷地外 地内)

最上川のバックウォーターに対する浸水被害の解消のため、国土交通省、河北町とも連携し、築堤整備、河道掘削等の治水対策を行う。

(令和5年度実施内容：設計、用地調査、用地補償 等)



(R4.10 住民説明会)

(写真提供：国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所)



# 1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進

## ◆河川流下能力向上・持続化対策事業費

### 1. 事業概要

氾濫の可能性が特に高い箇所について、堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川の流下能力を向上させ、県民の安全・安心の確保を図ります。あわせて、将来の堆積土砂撤去等の負担軽減のため、再堆積抑制のための流路保全対策（床止め）を行うことで、流下能力確保の持続化を図ります。

### 2. 令和5年度実施内容

#### ①河川流下能力向上対策

堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川流下能力を確保し、浸水被害の軽減を図ります。

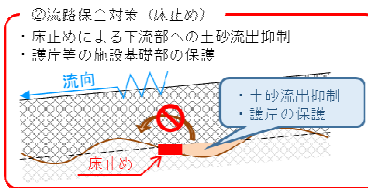
#### ②流路保全対策（床止め）

流下能力向上対策とあわせ、上流からの土砂流出による再堆積を抑制するため、床止めの設置などを行います。

L=約60km



▲①河川流下能力向上対策の効果事例



▲②流路保全対策（床止め）の対策後イメージ

## ◆事例紹介：一級河川 最上川水系 馬見ヶ崎川ほか

(着工前)



(完成)



馬見ヶ崎川(山形市印役町)  
堆積土砂撤去5,000m<sup>3</sup>

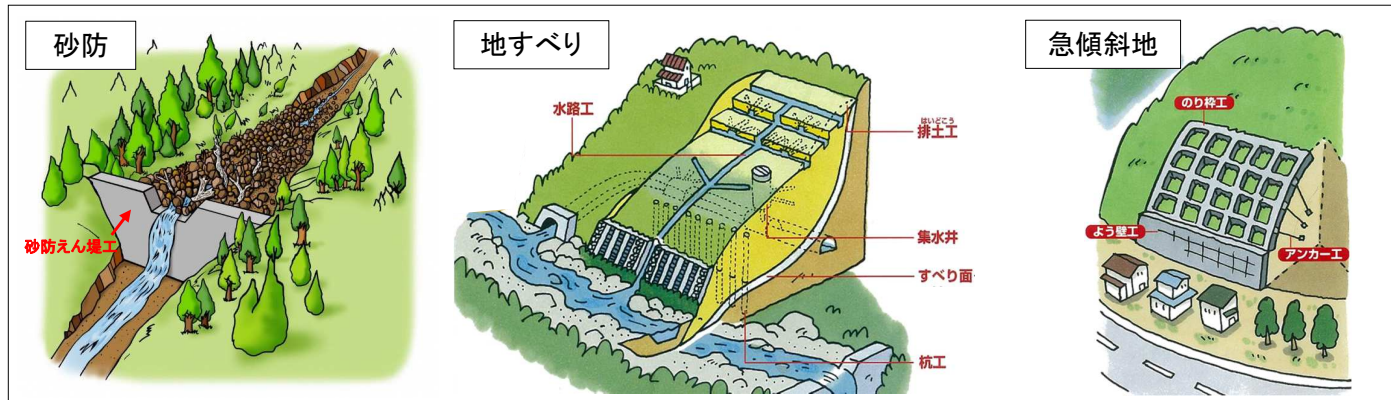
鬼面川(川西町下平柳)  
支障木伐採21,000m<sup>2</sup>

火の沢川(最上町黒澤)  
床止め設置

## ◆土砂災害対策事業費（砂防、地すべり、急傾斜地）

### 1. 事業概要

土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊による被害から県民の生命や人家、公共施設等を守ることを基本としています。  
 （国庫負担率1/2以上）



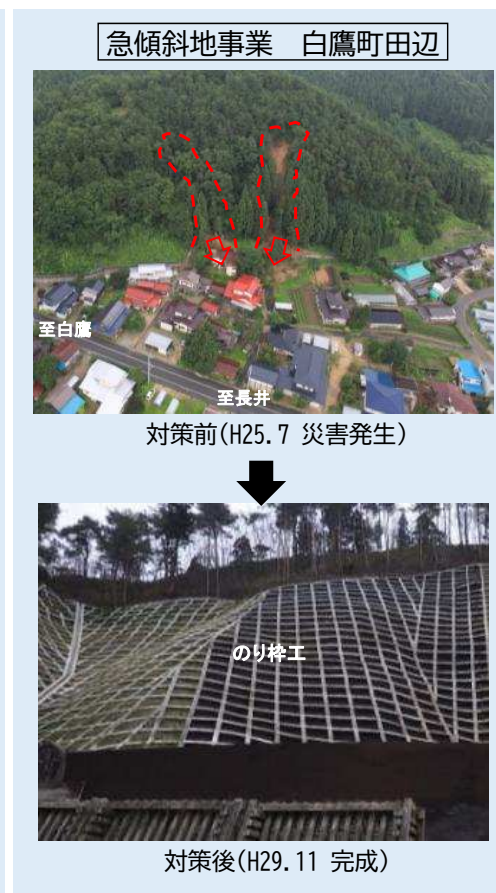
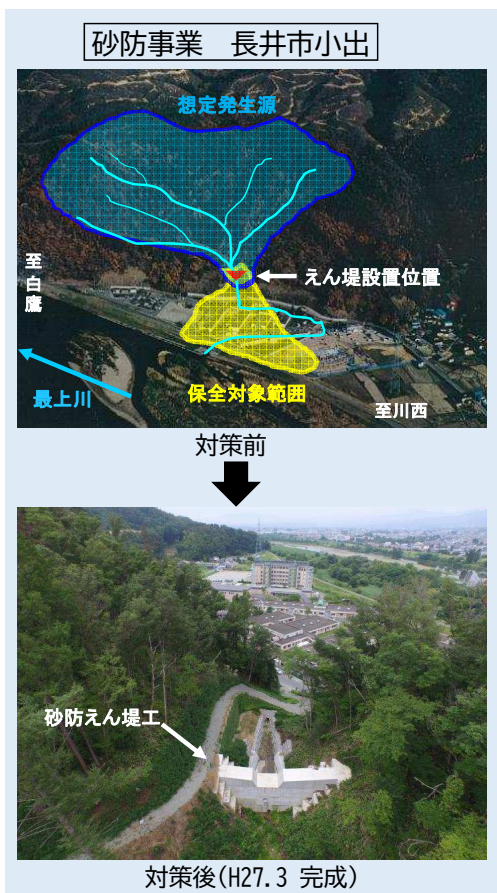
土砂災害対策事業費のイメージ図

イラスト提供：土砂災害防止広報センター

### 2. 令和5年度実施内容

	砂防	地すべり	急傾斜地
実施予定箇所数	33箇所	7箇所	26箇所
主な施設	砂防えん堤、溪流保全	集水井、水路	のり柵、よう壁

## ◆事例紹介



# 1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進

## ◆街路整備事業費

### 1. 事業概要

都市計画道路において、現道拡幅、幹線道路の4車線化、電線共同溝整備による無電柱化、無散水消雪による歩道整備等に取り組んでいます。

### 2. 令和5年度実施内容

事業実施予定箇所：旅籠町八日町線（本町工区） 外 11箇所



R4事業完了 豊里十里塚線(酒田市)



事業中 旅籠町八日町線(山形市)

## ◆事例紹介：よっかまちやんべまちせん 四日町山家町線（山形市薬師町地内）

事業前



事業後



馬見ヶ崎橋の架替



事業期間：平成15年～令和4年

総事業費：66億円

事業内容：現道拡幅、無電柱化、無散水消雪、橋梁架替  
ポケットパーク

整備 備：延長 L=637.1m

幅員 W=20m(歩道 4.5m)

## ◆雪に強いみちづくり事業費

### 1. 事業概要

山形県は、県全域が豪雪地帯に指定され、このうちの76%が「特別豪雪地帯」に指定されています。雪による交通障害は、経済活動や日常生活に多大な影響をもたらすこととなります。

よって、本事業では、安全で安心な冬期交通の確保に資する雪に強い道路を整備するため、防雪事業及び凍雪害防止事業を推進するものです。

### 2. 令和5年度実施内容

#### (1) 雪崩や地吹雪に対して安心して通行できる道路の整備

緊急輸送道路や孤立集落へのアクセス道路、中山間地域の集落等と生活圏中心都市を結ぶ道路等を中心に、雪崩予防柵等や、防雪柵等の整備及び保全を行います。



#### (2) 家屋連坦箇所等における堆雪による交通障害の解消

日常生活や経済活動への影響を及ぼさない道路とするために、流雪溝の整備や消雪施設の整備・保全を行います。



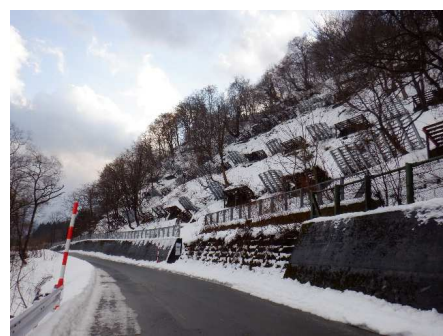
## ◆事例紹介：雪崩対策、地吹雪対策

### 雪崩対策：（主）大江西川線【西村山郡西川町大井沢地内】

（整備前：雪崩発生状況）



（整備後：雪崩予防柵設置完了）



### 地吹雪対策：（国）458号【最上郡鮭川村川口地内】

（整備前：地吹雪発生状況）



（整備後：防雪柵設置完了）



## ◆災害に強いみちづくり事業費

### 1. 事業概要

平成23年に発生した東日本大震災では、緊急時に迅速な避難、物資輸送、医療・応急活動を円滑かつ確実に実施するための緊急輸送道路ネットワークの重要性が再認識され、特にこれらの道路については、豪雨や豪雪、地震災害に対して強い道路とする必要があります。

よって、平常時・災害時問わず、山形県内の主要な交通を担う県管理道路において、落石防止対策及び斜面崩壊対策を実施することで、災害による道路の寸断等による集落の孤立や広域迂回を防止し、緊急輸送道路及び孤立危険集落アクセス道路の安全安心な交通の実現を図ります。

### 2. 令和5年度実施内容

実施予定箇所数

- (1) 落石防止対策 7箇所
- (2) 斜面崩壊対策 18箇所



## ◆事例紹介：落石防止対策 斜面崩壊対策

(1) 落石防止対策 (主) 藤島由良線(鶴岡市油戸地内) 擁壁工+落石防護柵工



落石状況



対策前



対策後

(2) 斜面崩壊対策 (主) 蔵王公園線(山形市蔵王温泉地内) 擁壁補修+上法面の植生



対策前



対策後

## ◆道路除雪費

### 1. 事業概要

県内全域が豪雪地帯に指定されている雪国山形県において、道路除雪は冬期間の交通や物流を確保するために必要不可欠で、県民生活にも直接的に影響する非常に重要な業務です。

県管理道路の除雪業務は、管理延長のうち、車道は約9割、歩道は約6割を除雪路線として設定しています。

県内を51工区に分割して業務委託契約を締結し、約1,200人の除雪オペレーター（運転手）が、冬期間の交通確保のために尽力しています。

### 2. 令和4年度実施内容（参考）

- 車道除雪延長 L=2,750km
- 歩道除雪延長 L=1,230km
- 除雪機械台数
  - ・車道除雪用機械 365台  
(県所有314台、民間所有51台)
  - ・歩道除雪機械 205台  
(県所有199台、民間所有6台)
  - ・凍結抑制剤散布車 53台  
(県所有50台、民間所有3台)



車道除雪状況

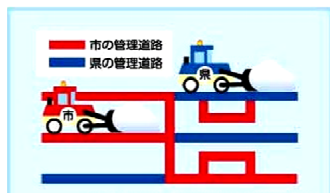


歩道除雪状況

## ◆道路除雪における様々な取組み

### (1) 市町村との除雪路線の交換

#### 【交換除雪イメージ】



県と市町村の間で、除雪作業が効率的となる路線を選定、交換し、空走距離の縮減による効率的な除雪作業を行う。



### (2) ふれあいの道路愛護事業 (歩道除雪ボランティア支援)



### (3) 除雪オペレーター担い手確保支援事業

県が管理する道路の除雪を行う事業者に対し、安定した除雪業務の担い手となる除雪オペレーターを育成し、冬期間の安全で安心な交通を確保するため、大型特殊免許の取得等に対して費用の一部を補助します。

#### 1 補助の対象となる事業者

- ・山形県の令和5・6年度競争入札参加資格者名簿（建設工事）の役務において除排雪業種に記載されている事業者

#### 2 補助の対象となるオペレーター

- ・上記1における事業主、役員及び従業員で、交付申請日において普通自動車免許（AT限定を含む。）を所持している55歳以下※の方  
※令和5年4月1日時点

#### 3 補助の対象となる経費

- (1) 大型特殊免許の取得に関して
- ・入学金、適性検査料、技能講習料、教本代、写真代及び検定料
- (2) 労働安全衛生法第61条に基づく車両系建設機械運転技能講習に関して
- ・講習会受講費及び教材料
- (3) 除雪機械管理施工技術講習会に関して
- ・講習会受講費及び教材料

**(1) から (3) に要した費用の1/2以内、上限額5万円**

※補助対象となったオペレーターは、交付年度から起算して3年間、県管理道路の除雪業務に就いていただくこととなります。



## ◆盛土災害防止対策事業費

### 1. 事業概要

静岡県熱海市において、令和3年7月に発生した盛土崩壊による土石流災害を受け、「宅地造成等規制法」が改正され、国土交通省と農林水産省の共管法として、「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」）が、令和4年5月27日に公布されました。（令和5年5月26日施行予定）

この盛土規制法に基づき、盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を「規制区域」として指定するため、令和5年度より「規制区域」指定のために必要となる「基礎調査」を実施します。

### 2. 改正の概要

#### (1) スキマのない規制

- ・都道府県知事等が、宅地、森林、農地等の土地の用途にかかわらず、盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を規制区域として指定
- ・農地・森林の造成や土石の一時的な堆積も含め、規制区域内で行う盛土等を許可の対象とする 等

#### (2) 盛土等の安全性の確保

- ・盛土等を行うエリアの地形・地質等に応じて、災害防止のために必要な許可基準を設定
- ・許可基準に沿って安全対策が行われているかどうかを確認するため、  
[1]施工状況の定期報告、[2]施工中の中間検査、[3]工事完了時の完了検査を実施 等

#### (3) 責任の所在の明確化

- ・盛土等が行われた土地について、土地所有者等が安全な状態に維持する責務を有することを明確化
- ・災害防止のため必要なときは、土地所有者等だけでなく、原因行為者に対しても、是正措置等を命令できることとする 等

#### (4) 実効性のある罰則の措置

- ・罰則が抑止力として十分機能するよう、無許可行為や命令違反等に対する罰則について、条例による罰則の上限より高い水準に強化 等

## ◆規制区域のイメージ

### 改正前の宅地造成工事規制区域

#### 【規制対象】

- 宅地を造成するための盛土・切土



#### 【区域指定のイメージ】

主に、丘陵地にある市街地（又は今後市街地になりうる土地）の区域を指定

### 新制度による規制区域

#### 【規制対象】

※（下線部）：規制を強化する部分

- 土地（森林・農地を含む）を造成するための盛土・切土
- 土捨て行為や一時的な堆積



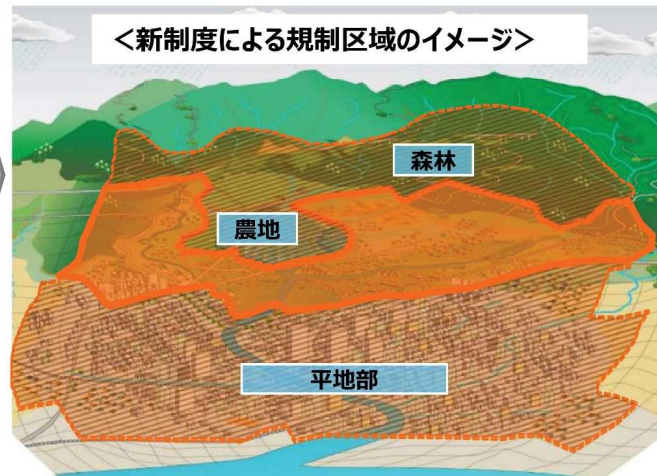
#### 【区域指定のイメージ】

改正前の宅地造成工事規制区域に加えて、  
土砂流出等により人家等に被害を及ぼしうる、森林、農地、平地部の土地を広く指定

#### <宅地造成工事規制区域（改正前）のイメージ>



#### <新制度による規制区域のイメージ>

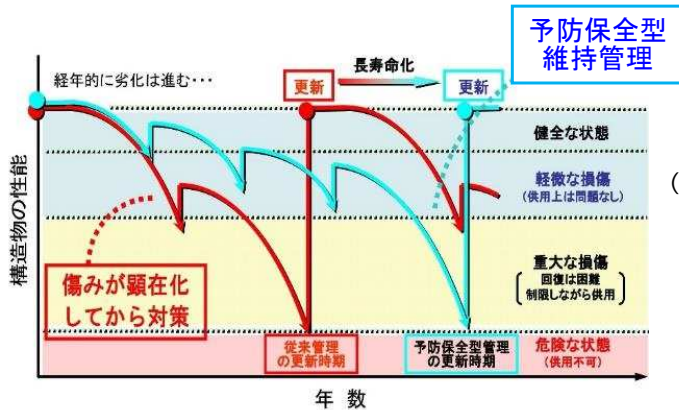


## ◆道路施設長寿命化対策事業費

### 1. 事業概要

県が管理する橋梁、舗装、トンネル等の道路施設について、「傷んでから治す」維持管理から「傷みが小さいうちから計画的に補修する」予防保全型の維持管理への移行を推進することで、県民生活の安全安心を確保しながら将来的な財政負担を抑制していきます。

また、大地震による落橋等の防止対策として、既設橋梁の耐震補強を実施します。

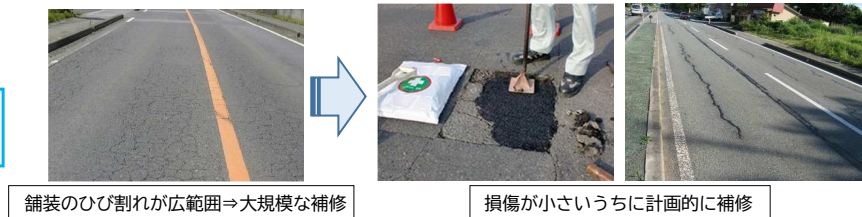


### 2. 令和5年度実施内容

(1) 橋梁 ( 橋梁定期点検、補修計画策定、長寿命化対策工事、耐震補強工事 )



(2) 舗装 ( 長寿命化対策工事 )



(3) トンネル ( トンネル詳細点検、長寿命化対策工事 )



## ◆事例紹介：AIを活用した道路維持管理体制の検討の取組

### ○取組内容

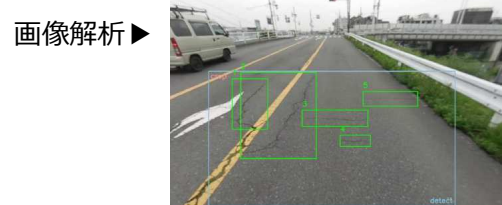
路面状況を含む道路環境全体のデジタルデータ（3次元点群座標、360°連続カラー画像等）を取得しデジタル図化等に活用します。併せて、日常の道路パトロールにおいて撮影した画像データをAIで画像解析を行い、危険箇所の抽出等を機械的に行えないか検証します。

### ○令和5年度実施内容

県管理道路約3,100kmのうち、緊急輸送道路1,272kmについて、3年間でデジタルデータの取得を行います。また、道路パトロール車に「AI解析システムと連携できるカメラ」を搭載し、AIを活用した画像解析を検証します。令和5年度は、その2年目となります。



### ▼道路空間のデジタル図化





## ◆河川管理施設長寿命化対策事業費

### 1. 事業概要

県が管理する河川管理施設のうち、ゲートを有する樋門（496基）は、設置後40年経過したものが50%を超え、今後、施設全体の急激な老朽化の進行が懸念されます。

本事業は、山形県河川管理施設長寿命化計画（樋門）に基づき、点検及び防錆対策や機械・電気設備等の補修及び更新を行い、あわせて予算の平準化と長期的なライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の健全化を図る事業です。

### 2. 令和5年度実施内容

実施予定箇所数

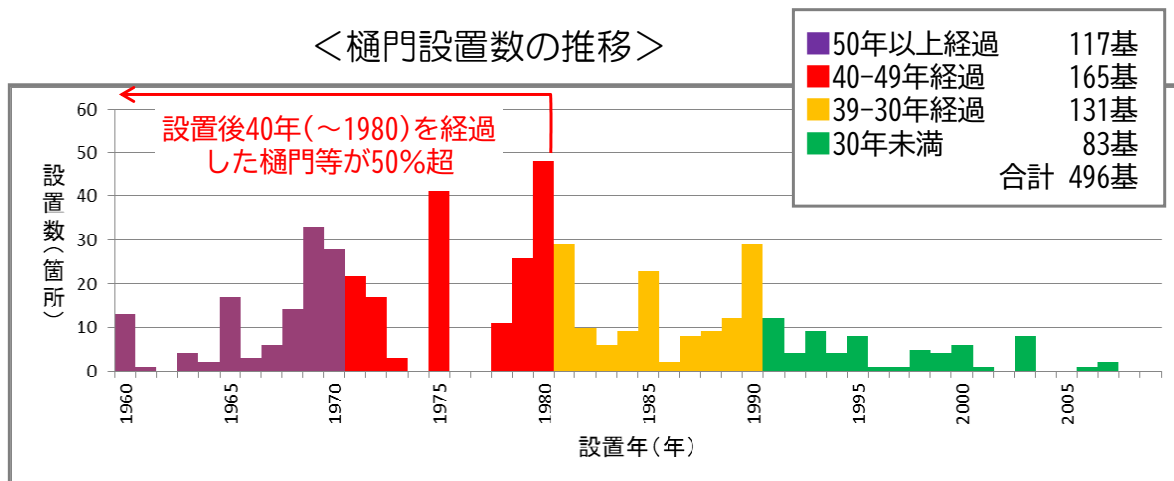
○機械設備の補修

1箇所

○フラップゲート化

14箇所

＜樋門設置数の推移＞



## ◆事例紹介：水門及び樋門における整備・更新

防錆対策



機械設備の補修



無動力化の推進  
(フラップゲート化)



## ◆砂防関係施設長寿命化対策事業費

### 1. 事業概要

砂防関係施設は、土砂災害から住民の生命と財産を守るための重要な社会資本であり、その機能や性能を維持していく必要があります。

破損や老朽化で機能低下が確認された砂防関係施設に対して、施設の損傷に応じた補修及び改築等の対策工事を実施し、長寿命化を図ります。

○本県が管理する主な砂防関係施設（令和4年3月末現在）

- ・砂防えん堤1,179基、床固工 169基
- ・地すべり防止施設（集水井）554基
- ・急傾斜地崩壊防止施設（法枠、擁壁工、落石防護柵）2,537施設

### 2. 令和5年度実施予定内容

砂防関係施設の長寿命化を図るための工事及び設計を実施します。

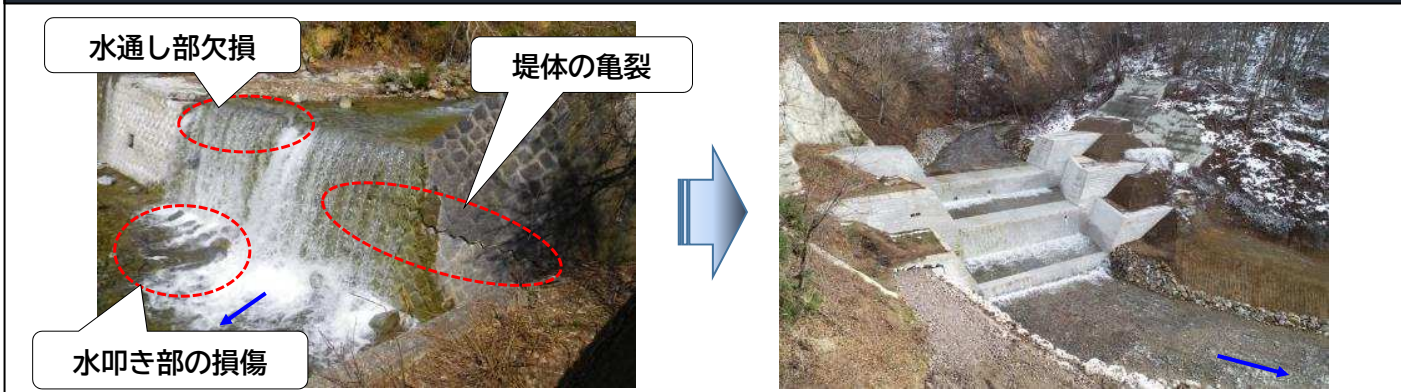
実施予定箇所数

- ・砂防えん堤 : 見月沢川（飯豊町）ほか7箇所
- ・地すべり防止施設 : 大網（鶴岡市）ほか1箇所
- ・急傾斜地崩壊防止施設 : 松の木（庄内町）ほか2箇所



## ◆事例紹介（完成）：砂防設備（酢川）及び地すべり防止施設（小倉）の改築

### 砂防設備（破損した砂防えん堤の改築）



### 地すべり防止施設（老朽化した集水井の改築）



## ◆港湾施設長寿命化対策事業費

### 1. 事業概要

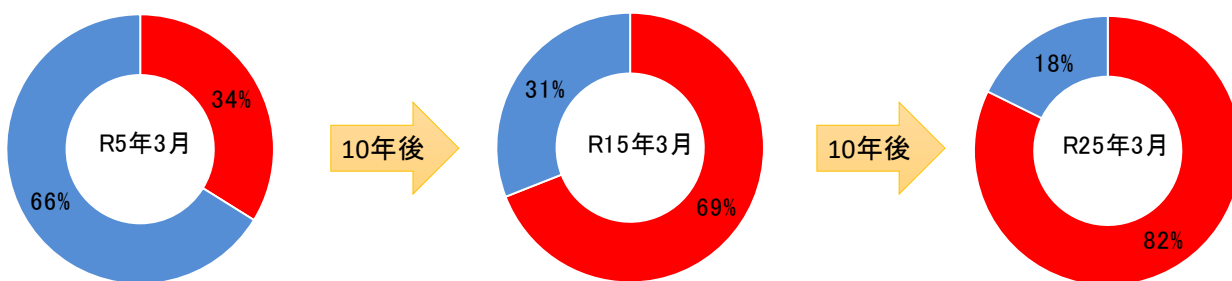
港湾の根幹を形成する防波堤や岸壁などのうち、竣工後50年以上経過する施設の割合が、10年後には約7割に達します。必要な機能を維持しつつ、将来の改良・更新コストを抑制するため、計画的な点検・診断と適切な対策工事による長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を目指します。

### 2. 令和5年度実施内容

- ・岸壁、護岸等の港湾施設について、損傷、劣化、変状等がないか定期点検の実施
- ・岸壁、護岸等の港湾施設について、長寿命化対策に係る詳細設計や工事の実施

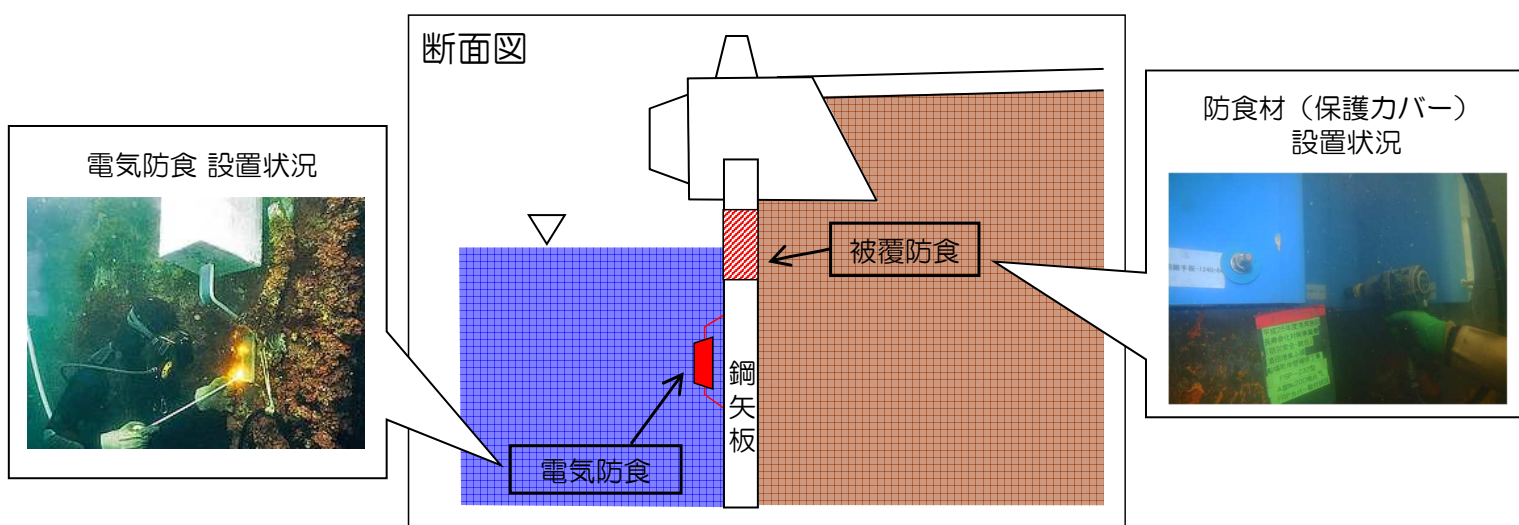
主要な港湾施設の建設後50年以上経過する施設の割合

■ 建設後50年以上経過する施設  
■ 建設後50年未満の施設



## ◆事例紹介：係留施設（岸壁）

【具体的な対策事例（岸壁の場合）】



【被覆防食】鋼材表面を各種材料（強化プラスチックやチタン）で覆い、腐食環境から遮断する。

【電気防食】鋼材より錆びやすい材料を鋼材表面に取り付けることで、鋼材を錆びにくくする。

# 1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進

## ◆酒田港施設整備費【特別会計】（うち高砂埋立用護岸整備）

### 1. 事業概要

酒田港では、港内における船舶の航行安全性確保のため浚渫事業を計画していますが、これら港湾整備に伴い発生する浚渫土砂について、現在、酒田港で受入可能な埋立用護岸はないため、港湾計画（※）で位置付けられている高砂埋立用護岸の整備を行います。

※ 港湾計画とは、港湾管理者である県が今後の施設整備計画などを定めるもの（港湾法第3条の3）

### 2. 令和5年度実施内容

護岸設計及び設計に必要な地質調査、深淺測量等の実施



①酒田港の空撮



②酒田港の浚渫工事状況



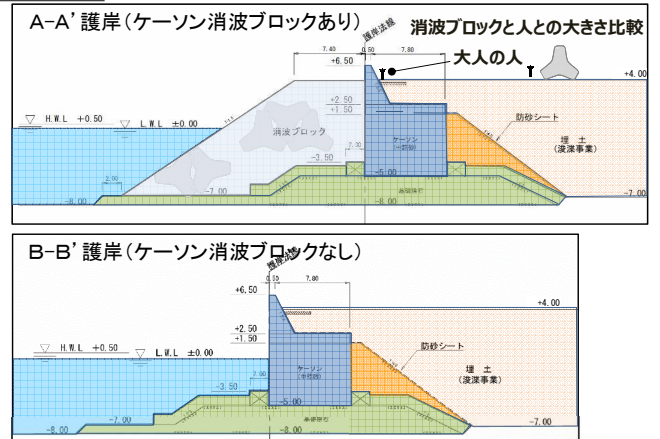
出典：国土地理院HP

## ◆高砂埋立用護岸整備のイメージ



令和3年7月撮影

### 標準断面図



冬季風浪による越波状況



ガット船の基礎捨石投入状況



ケーソン進水状況



消波ブロック据付状況

# 1 安全・安心で持続可能な県土をつくる「やまがた強靱化」の推進

## ◆空港整備事業費（うち山形空港脱炭素化基礎調査）

### 1. 事業概要

「ゼロカーボンやまがた2050」宣言に基づき、空港分野の温室効果ガスの排出削減に向けた取組みを実施します。

	目標	手法
2030年まで	温室効果ガス排出量50%削減(2013年比)	省エネ対策・再エネ導入拡大
2050年まで	温室効果ガス排出実質ゼロを目指す	新技術の導入

国土交通省 航空脱炭素推進基本方針:2030年度までに46%以上(2013年比)削減

#### 【空港での取組みの例】

- ・再生可能エネルギーの利用
- ・地上作業や点検で使用する車両のEV化
- ・消費電力の抑制(旅客ターミナルの照明、空調の省エネや航空灯火のLED化等) など

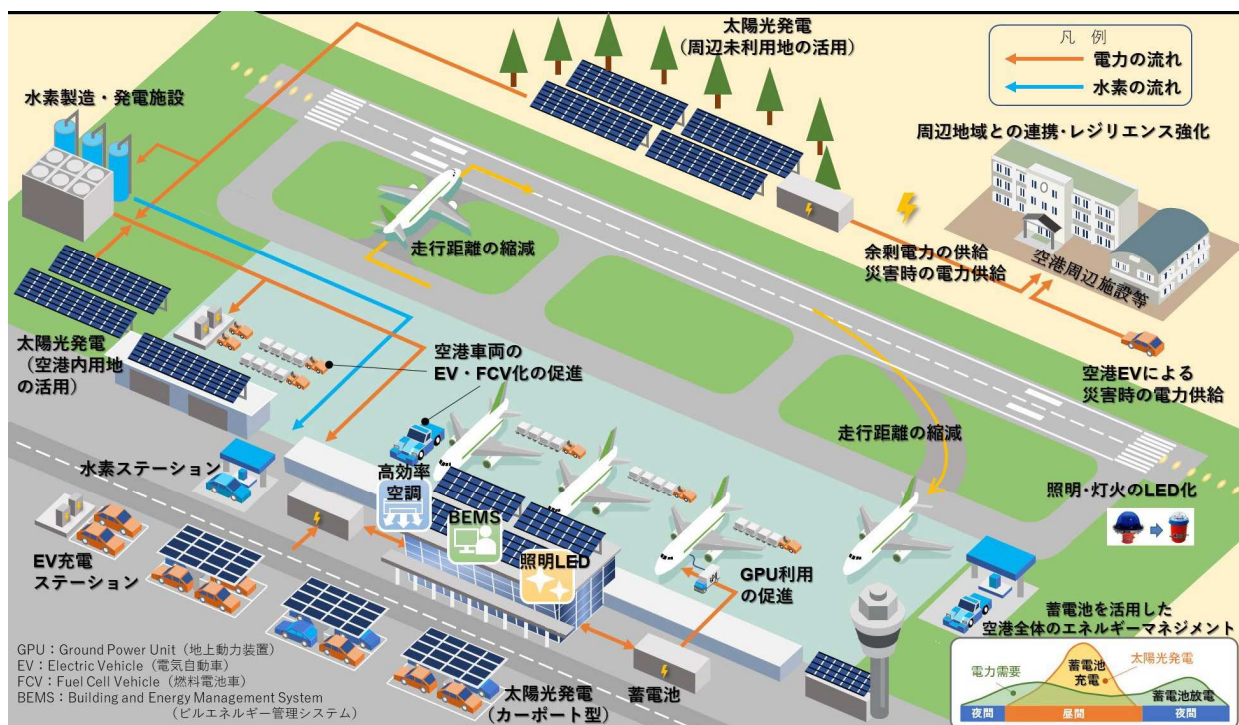
航空灯火のLED化(誘導路灯)



### 2. 令和5年度実施内容

空港の脱炭素化を検討するための、山形空港における温室効果ガス排出量の測定や電力需要のシミュレーション等を行う基礎調査の実施

## ◆空港の脱炭素化のイメージ



出典:国土交通省航空局「空港脱炭素化のための計画策定ガイドライン」

### ◆道路改築事業費

#### 1. 事業概要

県土の基盤となる広域道路・地域内道路ネットワークを整備することで、産業や観光の振興に不可欠なヒト・モノの交流を支えるとともに、大規模災害時にも有効に機能するダブルネットワーク化を推進します。

#### 2. 令和5年度実施内容

##### (1) 広域道路ネットワークを生かすインターチェンジ（IC）や拠点へのアクセス道路の整備

- ・高速道路・高規格道路のICに接続するアクセス道路の整備を推進します。
- ・重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進します。

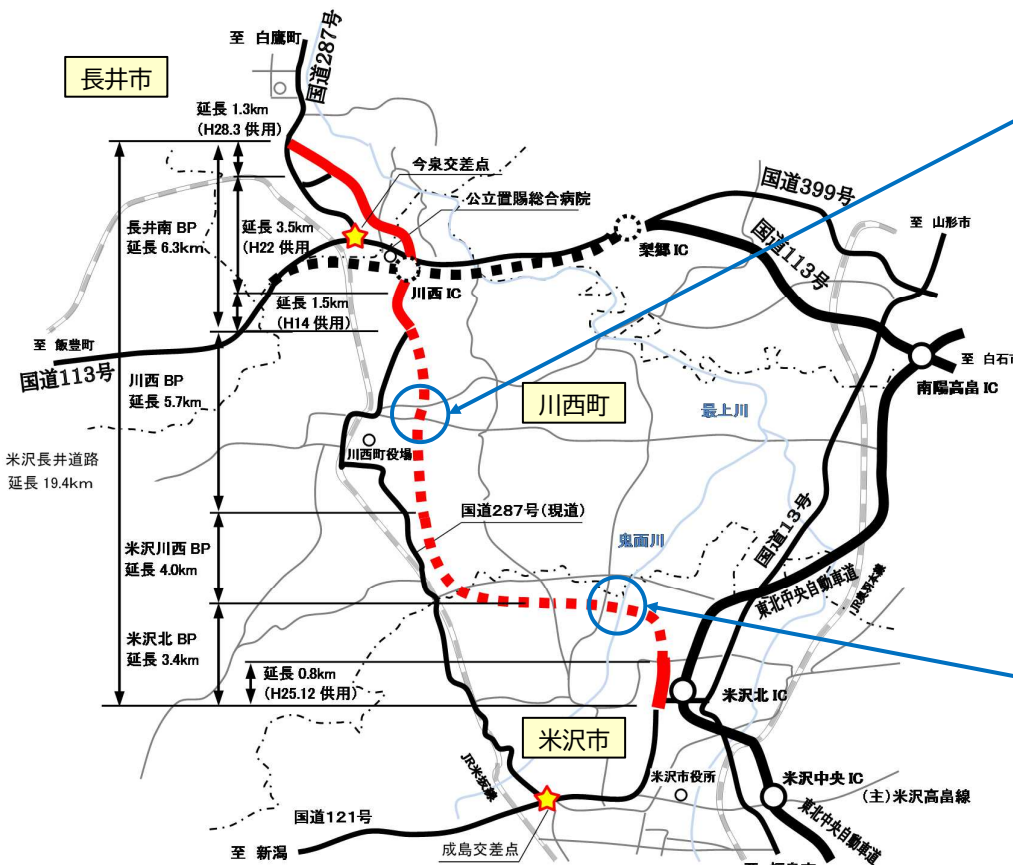
##### (2) 生活圏間、都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備

- ・一般国道や主要な県道において、道路の改築、拡幅やバイパスの整備を推進します。
- ・地域の実情に応じた効率的な整備を推進します。  
(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)



(一) 村山大石田線（村山名取IC）  
(R4. 10. 29供用開始)

### ◆事例紹介：国道287号 米沢長井道路



道路土工施工状況(川西町)



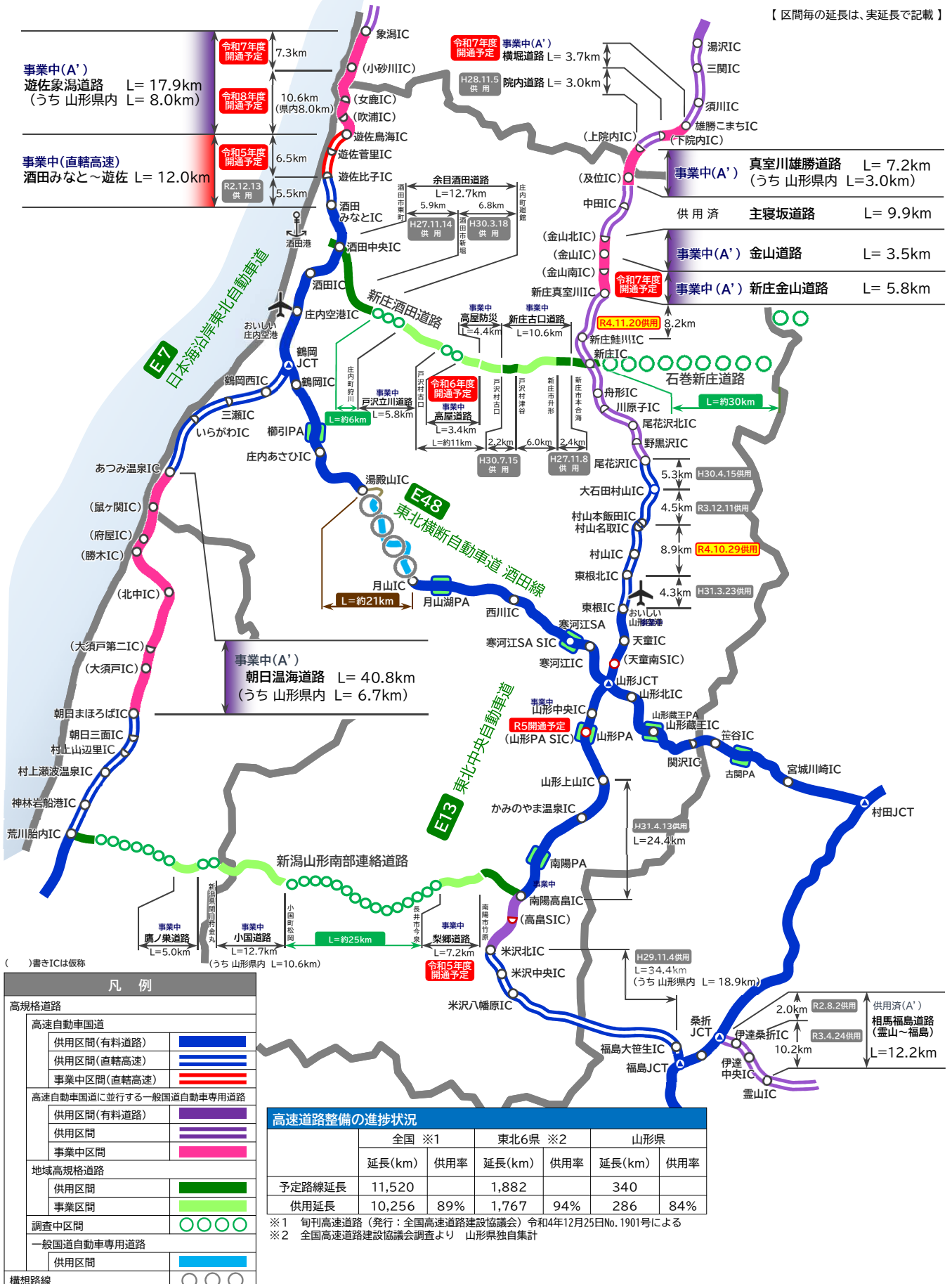
豊穰橋施工状況(米沢市)

# 2 多様な交流基盤の形成

## 山形県の高規格道路の整備状況

令和4年12月末現在

【区間毎の延長は、実延長で記載】



高規格道路	
高速自動車国道	
供用区間(有料道路)	■
供用区間(直轄高速)	■
事業中区間(直轄高速)	■
高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路	
供用区間(有料道路)	■
供用区間	■
事業中区間	■
地域高規格道路	
供用区間	■
事業中区間	■
調査中区間	○
一般国道自動車専用道路	
供用区間	■
構想路線	○

◆ 空港整備事業費 ～滑走路端安全区域の整備～

1. 事業概要

滑走路端安全区域（RESA）は、飛行機がアンダーシュートやオーバーランした場合などに、人命の安全と機体の損傷を軽減させるため、滑走路の両端に設けられる障害物が除去された区域です。

現在、山形空港及び庄内空港の滑走路端安全区域（RESA）は建設当時の基準である40m以上を確保していますが、平成29年に基準が改正され、原則90m以上が必要となりました。

そこで、本事業では、不足する分を延長し、航空機の離発着の安全を確保します。

2. 令和5年度実施内容

- ・ 山形空港におけるRESAの整備 L=7m（令和3年度開始）
- ・ 庄内空港におけるRESAの整備 L=50m（平成30年度開始）



◆ 山形空港・庄内空港の状況





## 2 多様な交流基盤の形成

### ◆酒田港整備事業費（うち外航クルーズ船受入体制整備）

#### 1. 事業概要

外航クルーズ船寄港時におけるふ頭内の保安確保のためフェンス等を設置するほか、初寄港となる外航クルーズ船の入出港時における航行の安全性を確認するため調査を行います。

#### 2. 令和5年度実施内容

- ・外航クルーズ船受入のための保安対策の実施
- ・初寄港となる船舶の航行安全調査の実施

#### 外航クルーズ船寄港時の保安対策



・外航クルーズ船寄港時のフェンス等の設置による保安対策の実施

#### 航行安全調査



・航行安全対策検討委員会の開催

### ◆酒田港への外航クルーズ船の寄港



・ダイヤモンド・プリンセス11万トン級



・MSCスプレディダ 13万トン級  
(酒田港に寄港したクルーズ船で過去最大級)



・外航クルーズ船寄港時の様子



・寄港地観光に向かうクルーズ乗船客



・ふ頭内の臨時観光案内所



・クルーズ乗船客で賑わう酒田市内

### 3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成

## ◆良質住宅ストック形成推進事業費

#### 1. 事業概要

山形の厳しい気候においても快適に長く暮らすことができる住宅の新築及びリフォームに対する支援を実施します。

#### 2. 令和5年度実施内容

##### (1) 新築支援

一定量の県産木材を使用した高断熱・高気密住宅「やまがた省エネ健康住宅」の建設に対して補助金を交付。

補助金額	募集戸数	要件
70万円（定額）	200戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがた省エネ健康住宅の認証を取得すること</li> <li>・県産木材を一定量※以上使用すること</li> </ul> など

※住宅の延べ面積（㎡）×0.1㎡×50%

##### やまがた省エネ健康住宅とは

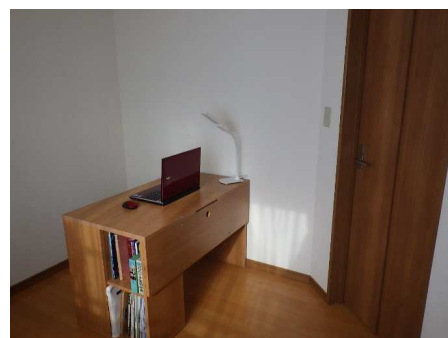
最も寒い時期の就寝前に暖房を切っても翌朝室温が10度を下回らない高い断熱性能と、その断熱効果を高める気密性能を有する住宅として県が認証。

冷暖房費を抑えることができ、健康への好影響やヒートショック防止にもつながる。

##### (2) リフォーム支援

支援対象工事を含む住宅リフォームに対して県と市町村が協調して、補助金を交付。

支援対象工事	補助上限額
耐震改修	80万円 (県1/4・市町村1/4・国1/2)
① 新・生活様式対応 ② 減災・部分補強 ③ 寒さ対策・断熱化 ④ バリアフリー化 ⑤ 克雪化 ⑥ 県産木材使用	一般世帯：24万円 (県1/2・市町村1/2)  移住・新婚・子育て世帯：30万円 (県1/2・市町村1/2)



【新・生活様式対応の例】  
テレワークスペースの設置



【減災・部分補強の例】  
防災ベッドの設置



【寒さ対策・断熱化の例】  
二重サッシの設置



【克雪化の例】  
屋根に融雪設備を設置

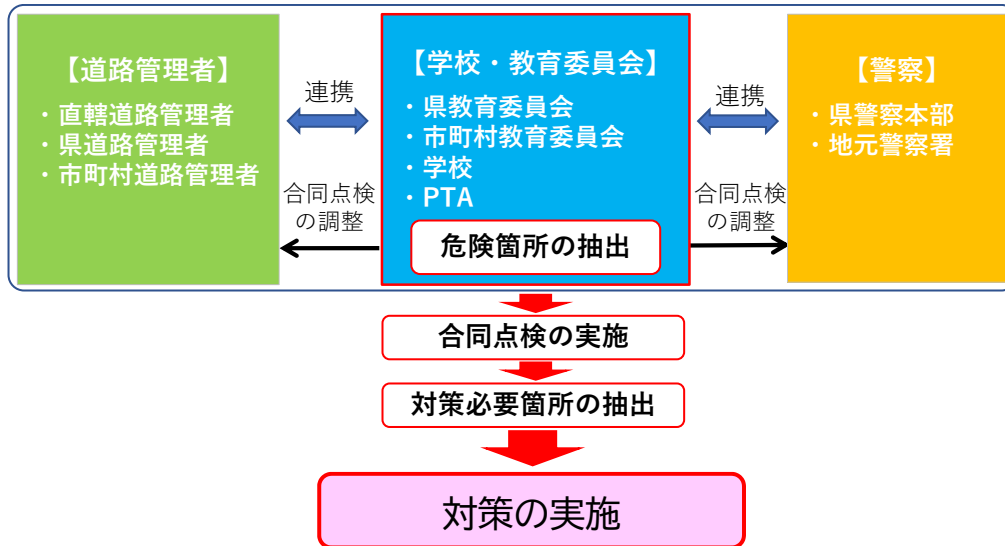
### 3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成

## ◆交通安全道路事業費 ～通学路の合同点検等を踏まえた安全対策の推進～

### 1. 事業概要

通学時の児童を交通事故から守るため、学校や教育委員会、警察及び道路管理者が連携して通学路の点検を行い、ハード対策が必要とされる箇所については、緊急的な対策としての歩行空間のカラー化や、恒久的な対策としての歩道設置、交差点改良等を実施します。

### 2. 令和5年度実施内容



上山市立南小学校学区における緊急安全点検の実施状況 (R3.7.6)

## ◆事例紹介：通学路点検結果に基づく対策実施事例

危険な箇所には緊急的な対策を実施します

交差点の巻き込み部への車両防護柵の設置などにより、交差点付近での児童への車両の衝突を防止します。



(主)上山七ヶ宿線  
上山市立上山南小学校学区

恒久的な対策として歩道整備等も推進していきます

通学児童数が多く、危険性の高い箇所においては、歩道の新設や改善を着実に進めていきます。



(主)舟形大蔵線  
舟形町立舟形小学校学区

### 3 にぎわいがあり誰もが快適に活用できる県土の形成

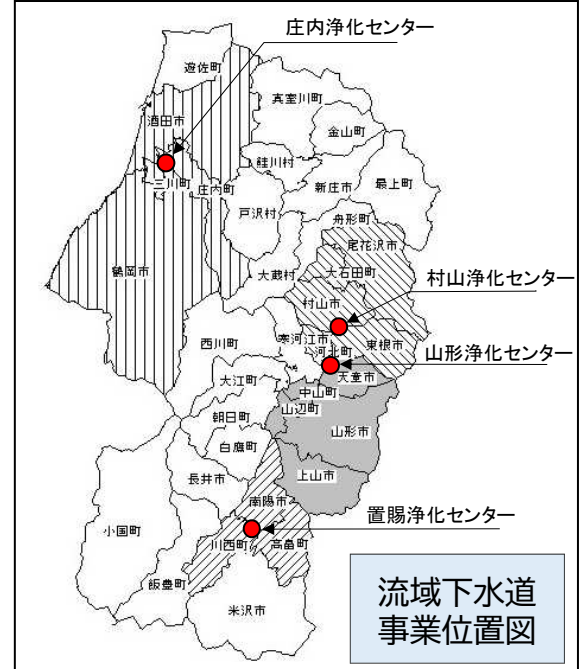
## ◆流域下水道事業【公営企業会計】（うち流域下水道整備）

### 1. 事業概要

本県では、市町村の行政界を越えて一体的な汚水処理を実施した方が効率的な地域において、流域下水道事業として処理場や主要な下水道管の整備・維持管理を行っており、現在、山形、村山、置賜、庄内の4つの地域で事業を実施しています。

### 2. 令和5年度実施内容

- ①ストックマネジメント計画に基づく施設の改築更新  
テレビカメラによる点検調査、処理場の設備更新等の実施
- ②流域下水道施設の整備  
酒田市松山地区の流域下水道編入に伴う管路整備工事の実施
- ③施設の耐震化  
処理場及び管路施設の耐震化の実施
- ④施設の耐水化  
耐水化計画に基づく処理場施設の耐水化詳細設計の実施
- ⑤雨天時浸入水対策（山形処理区）  
発生源対策として、地下水浸入防止のためのマンホール改築工事の実施



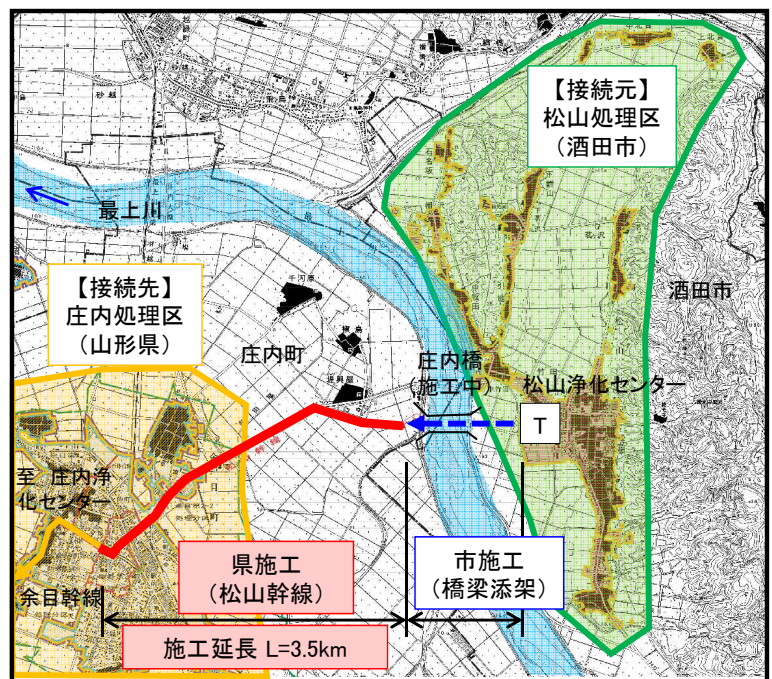
## ◆事例紹介



管渠点検調査  
(テレビカメラ調査)



管路施設の耐震化  
(マンホール浮き上がり防止)



概要図 流域下水道施設の整備  
(酒田市松山地区の流域下水道編入)

## ◆都市公園活用推進事業費（都市公園長寿命化対策）

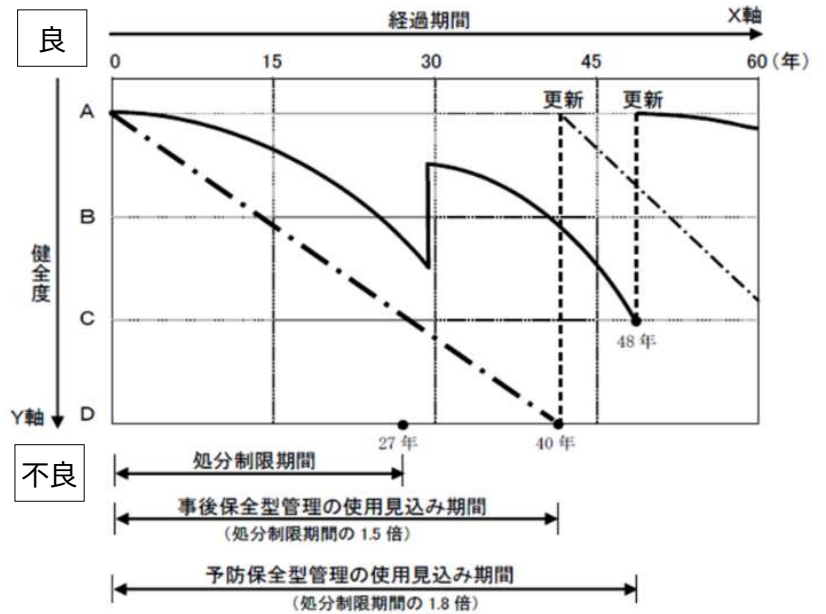
### 1. 事業概要

山形県が管理する都市公園は、老朽化が進行しており、施設の修繕・更新が必要となっています。

このため、安全・安心に利用していただけるよう、「山形県都市公園長寿命化計画」を策定し、これに基づき、計画的に施設の修繕・更新などの長寿命化対策を実施しています。

### 2. 令和5年度実施内容

山形県総合運動公園メインアリーナ床更新、西蔵王公園木橋更新、中山公園野球場躯体防水改修など、6公園で修繕・更新工事を実施



<予防保全型管理施設>  
ライフサイクルコスト削減効果の見込み等も勘案して、劣化や損傷を未然に防止しながら長持ちさせるべき施設

<事後保全型管理施設>  
日常的な維持管理や点検を行い機能しなくなった段階で取り換える施設

## ◆事例紹介：最上川ふるさと総合公園スケートパーク更新（寒河江市大字寒河江地内）

ストリートコース整備(R4)    パークコース整備(R3)



スケートパーク更新状況  
(上空より撮影)

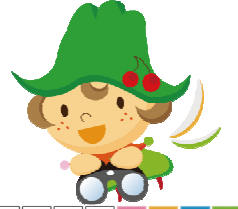


事業期間：令和元年～令和5年（予定）  
事業内容：パークコース滑走面補修、  
ストリートコース改修  
初心者エリア改修等（R5予定）

## ◆やまがたの誇れる景観魅力発信事業費

### 1. 事業概要

山形ならではの美しい景観を体感できる「『やまがた景観物語』おすすめビューポイント」を通じて誇れる景観の魅力を広く発信することで、「将来にわたって景観を整備保全する県民意識の醸成」と、景観を切り口とした「地域の個性や多様な交流の促進による地域活性化」を図ります。



やまがた景観物語

### 2. 令和5年度実施内容

#### (1) 誇れる景観を学ぶ場の提供

##### ①景観出前授業【継続】

市町村と連携し、小中学生を対象とした景観の出前授業を開催します。

##### ②景観探検まちあるき【継続】

地域住民が地域の魅力ある景観を再認識するためのまちあるきを開催します。

##### ③広告景観コンテスト【継続】

景観づくりに貢献する屋外広告物の普及を目指し、山形県屋外広告美術協同組合、東北芸術工科大学、山形市、県が広告景観コンテストを共催します。

#### (2) 誇れる景観の環境整備

##### ④ビューポイント周辺環境整備【継続】

新たに指定されたビューポイントに標識設置等の周辺環境整備を行って来訪者の増加を図ります。

#### (3) 誇れる景観の情報発信

##### ⑤景観魅力発信コンテンツ作成【新規・拡充】

動画等のWebコンテンツ作成に加え、「やまがた景観物語ガイドブック」を制作し、来訪者の増加を図ります。

##### ⑥Instagramフォトコン・写真展【継続】

SNSを利用したフォトコンテストを継続開催し、集めた写真を希望施設等で掲示する写真展示会を開催します。

## ◆事例紹介

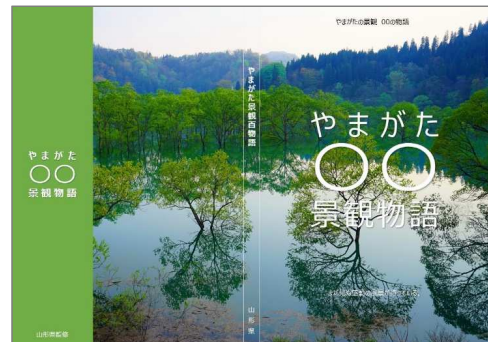
### ①景観出前授業



### ②景観探検まちあるき



### ⑤「やまがた景観物語ガイドブック」イメージ



### ③広告景観コンテスト



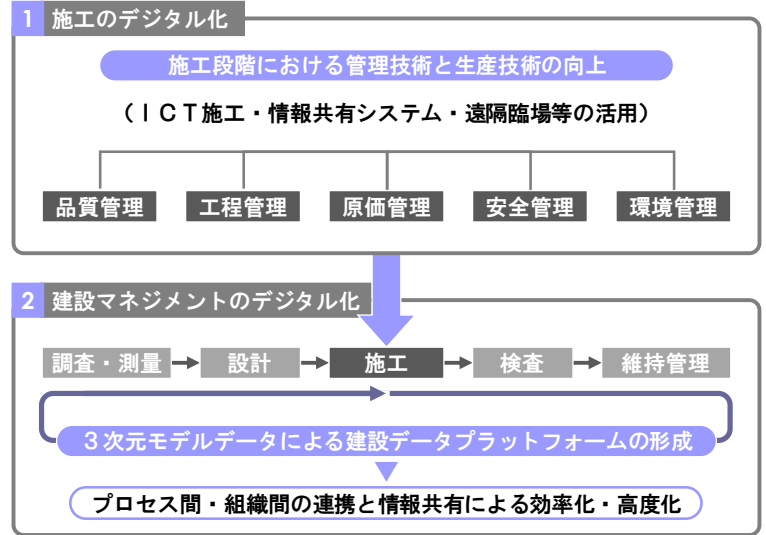
## ◆建設DX推進事業費

### 1. 事業概要

建設業は、インフラの整備のみならず、インフラの維持管理や災害対応など、地域を守り支える役割を担う必要不可欠な産業ですが、本県の就業者数が一貫して減少している中で、特に建設業就業者の減少幅は大きく、他産業と比較しても高齢化が進んでいます。

こうした中でも、建設業が将来にわたってこれらの役割を果たすことができるよう、建設分野においてもDXを推進し、生産性向上と働き方改革の促進に取り組むことが必要です。

このため、限られた人員や少ない作業量で施工が可能となるICT施工を推進するとともに、デジタルデータの活用による建設マネジメント全体の効率化・高度化に向けた人材育成と環境整備を進めていきます。



### 2. 令和5年度実施内容

#### ○建設DX推進戦略の策定

県の建設DXの方向性を示すため、民間と連携し、取り組みや工程等の取りまとめを実施

#### ○人材育成及び環境整備

- ・個別企業での対応が困難である、ICT施工を実践できる技術者を育成するための研修を実施
- ・将来の担い手確保につなげるため、中高生を対象に、建設業の可能性と魅力を伝える、最新のデジタル技術の体験会を開催
- ・測量、施工、検査などの全てのプロセスにおいて3次元データの活用による効率化・高度化を図るため、各プロセスを結ぶ役割を担う県が3次元データを扱える環境を整備

ICT活用工事の施工例  
(3次元データを活用した盛土工事)



#### <従来の施工>

目印や補助作業員を設置し、オペレーターが目視による確認を行いながら施工



省人化、作業時間の短縮、品質の向上

#### <ICT施工>

3次元設計データを取り込んだICT建機がオペレーターへのガイダンスや自動制御を行う施工  
(目印や補助作業員の設置が不要)

## 4 「やまがた強靱化」を担う人材の育成・確保

### ◆建設産業人材確保・育成事業費 ～人材確保の取組に対する支援やPR～

#### 1. 事業概要

現在の建設業においては、建設業従事者の高齢化や担い手不足が課題となっております。本事業では、将来の建設産業の担い手の確保に向けた支援や女性活躍のPRを行います。

#### 2. 令和5年度実施内容

##### ①建設産業担い手確保育成支援事業

建設業や建設関連業に携わる団体に対し、労働者の確保に向けた取組を実施する経費の一部を助成します。

##### ②女性進出促進事業

建設業での女性の活躍を促進するため、建設業に関心を持つ高等学校女子生徒等が女性技術者の働く県内の現場の見学や意見交換を行う「けんせつ女子ツアー」を開催します。



団体が実施した出前講座の様子



現場見学の様子（けんせつ女子ツアー）

### ◆（参考）建設業界のイメージアップ

#### 1. 事業概要

県内小中学生を対象として、未来の山形の姿や河川の安全利用、土砂災害の防止をテーマにした絵画コンクールを開催します。

#### 2. 令和5年度実施内容

県土未来部門、河川部門、砂防部門の3部門で実施し、このうち、県土未来部門では、未来の山形の姿（道路や空港、道の駅など）をイメージして絵に描いてもらうことで、県土インフラに対する興味とともに、郷土愛の醸成を図ります。



遊学館での作品展示



県知事賞（県土未来・中学生の部）



県知事賞（県土未来・小学生の部）

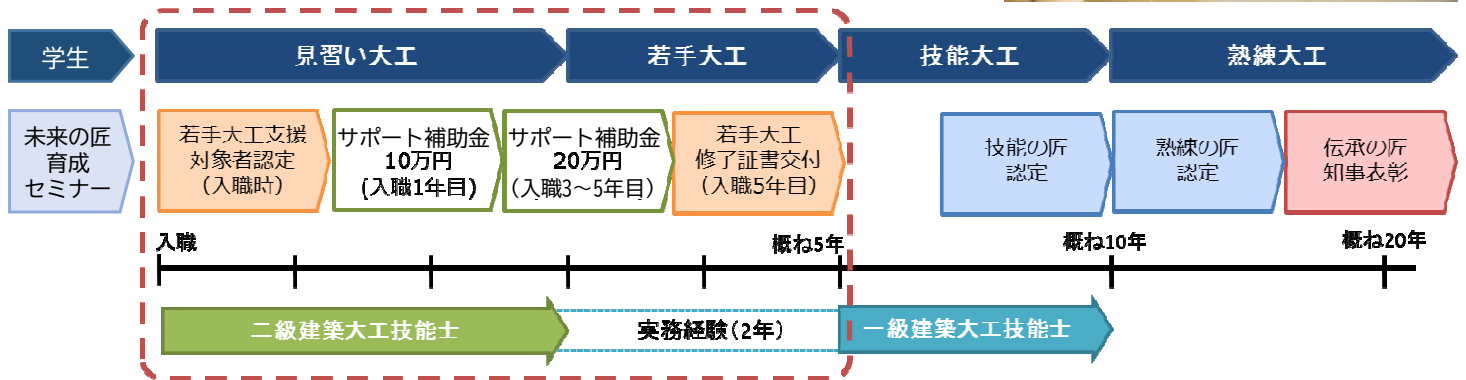


## ◆やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費

### 1. 事業概要

県内住宅関連産業の活性化と大工技能者の育成のため、次の取組みを行います。

- (1) 若手大工技能習得サポート補助金の交付
- (2) 大工の魅力を伝えるセミナーの開催支援（未来の匠育成事業）
- (3) 木造建築「技能の匠」「熟練の匠」認定
- (4) 木造住宅建築担い手育成者の表彰（木造建築伝承の匠）
- (5) 住宅情報総合サイト「タテッカーナ」による住宅関連情報発信



### 2. 令和5年度実施内容

#### (1) 若手大工技能習得サポート事業

- 新規入職から概ね5年間を「若手大工育成支援プログラム」とし、大工を育成します。
- 新規入職者を支援対象に認定し、資格取得や技能習得を条件として補助金を直接交付します。
- プログラム修了時に、技能習得の状況を確認し、修了証書を交付します。

#### (2) 山形の家づくり「未来の匠」育成事業

- 高校生に大工職の魅力を伝えるセミナーの開催を支援します。

#### (3) 木造建築「技能の匠」「熟練の匠」認定

- 高い技術と経験を有する大工技能者を認定します。

#### (4) 木造建築「伝承の匠」知事表彰

- 木造住宅建築にすぐれた技能、経験を有し、後継者を育成した大工技能者を表彰します。

#### (5) 住宅建築情報交流事業

- 住宅情報総合サイト「タテッカーナ」により以下の情報を発信します。

- ・国、県、市町村が行う支援策情報
- ・住宅建築の伝統技術や職人紹介
- ・住宅建築の実例紹介（新築・リフォーム）

- 若手大工向けの勉強会を実施しています



- 学生に大工の魅力を伝えていきます



- 後継者育成に尽力された方には知事表彰を行っています

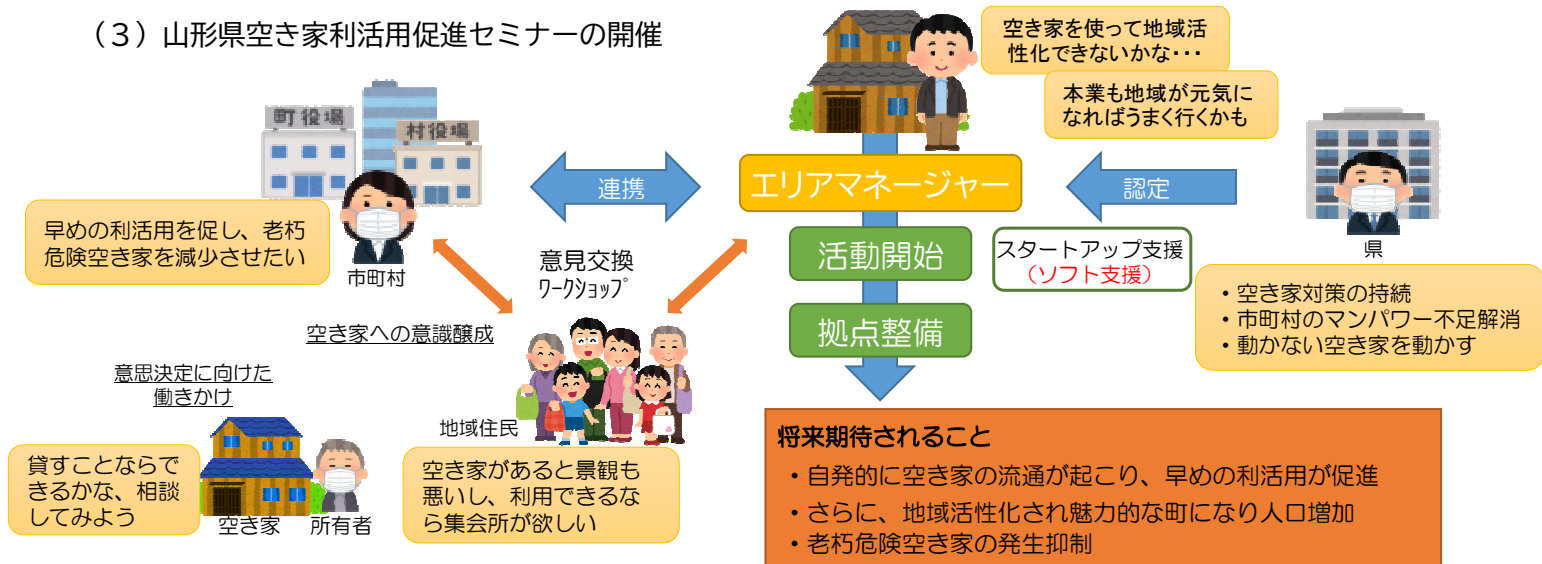


## ◆空き家対策推進事業費（うち空き家対策担い手育成）

### 1. 事業概要

地域の空き家問題の解決を図り、山形県民が望む良質な住環境づくりを担う人材を確保、育成するため、次の取組みを行います。

- (1) 山形県空き家対策エリアマネージャーの認定
- (2) 山形県空き家対策担い手育成スタートアップ支援モデル事業の実施
- (3) 山形県空き家利活用促進セミナーの開催



### 2. 令和5年度実施内容

#### (1) 山形県空き家対策エリアマネージャーの認定

○地域の空き家問題の解決を図り、山形県民が望む良質な住環境づくりを担う人材を確保、育成するため、地域に根差し市町村と連携し空き家対策に取り組む者を山形県空き家対策エリアマネージャーとして認定します。

(R4実績) 2事業者を認定(ウコギ社(米沢市)、ヤマムラ(新庄市))

#### (2) 山形県空き家対策担い手育成スタートアップ支援モデル事業の実施

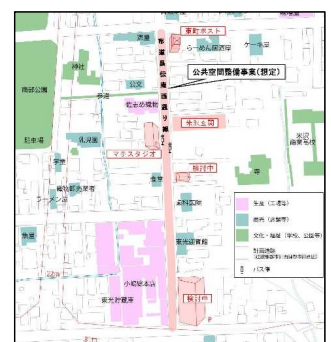
○エリアマネージャーが活動を始める際に、地域の状況把握や地域住民との連携体制構築が必要となることから、モデル事業として支援します。

(R4実績) ウコギ社(米沢市)を事業実施者として採択し、地域住民と連携して、地域のこれからの在り方や対策の方針などを定めた『未来ビジョン』の策定費用の一部を支援

#### (3) 山形県空き家利活用促進セミナーの開催

○新たなエリアマネージャー候補者の掘り起しに向け、モデル事業の実践状況を共有するセミナーを開催します。

(R4実績) ウコギ社の活動報告を通して、さらなる候補者の掘り起しに向けたセミナーを開催



【活動区域】



【未来ビジョン策定会議】  
ウコギ社(米沢市)

